

日本遺伝カウンセリング学会 投稿規定

1. 日本遺伝カウンセリング学会誌は臨床遺伝学および遺伝カウンセリング学に関する研究、速報、諸種の情報および資料を紹介することを目的とする。特に日本人についてえられた科学的事実を、国民に還元しようとする研究の発表を優先する。原則として国内外の他誌に未投稿のものでなければならない。
2. 掲載論文に関する著作権を日本遺伝カウンセリング学会に譲渡する。
3. 本誌投稿の筆頭者は日本遺伝カウンセリング学会会員に限る。ただし、依頼原稿についてはこの限りではない。
4. 論文の採択は査読者の査読を経た上で決定する。査読により論文の修正が必要となる場合、著者は指定する期間内（2ヶ月）に修正論文を返送する。指定期間に再提出されない場合は新規投稿として扱う。
5. 論文の投稿に際しては、必ず共著者の同意を得ること。「ヘルシンキ宣言」、ならびに本学会の「学術集会における症例報告を含む研究発表に際しての個人情報保護の考え方について」（2008年10月30日）を遵守したものでなければならない。
6. 本誌には次のものを掲載する。
 - 1) 原著（研究論文）、2) 症例報告（ケースレポート）、3) 総説、4) 学術集会プログラム、5) 委員会報告、6) 情報、7) 論説、提言、8) 編集委員会が認めたもの。
7. 邦文の原著、総説は16,000字以内、症例報告は8,000字以内とする。

*原稿字数に図・表・写真を含む（図・表・写真は原則として400字と換算する）

文章は現代かなづかいに従い、A4判の白紙に横書きで記載する。外国語の原語綴は行末で切れないようにする。
8. 原稿の内容は、
 - 1) 第1頁（表紙）：論文題名（和文・英文 両方）、著者名、所属名、連絡先（所属機関、勤務先または自宅の住所、電話番号、Fax 番号、e-mail address）。およびそれらの英文を記入する。論文題名には略語は使用しない。
 - 2) 第2頁に和文要旨（400字以内）および英・和文によるキーワード（5つ以内）を記す。論文本文は3頁から書き始める。
9. 論文の構成としては下記例のようにまとめること。

原著：緒言－対象・方法－成績（結果）－考察－謝辞－文献－図表

症例報告：緒言－症例－所見・経過－考察－謝辞－文献－図表
10. 英文論文は著者の責任により論文の提出前に Native Speaker の校閲を受ける。投稿時に Native Speaker の「所属・氏名等」を記載する。
11. 文献：

本文引用順に、文献番号を1. 2. 3. …とつける。本文の引用箇所右肩に出現順に通し番号をつけ、本頁末尾に一括して記載する。論文の表題を入れ、著者が4名以上の場合は、筆頭から3名のみ、あとは“他”、“et al.”とする。なお、雑誌の省略名は和文の場合は『医学中央雑誌・収載誌目録』、英文誌では『Index Medicus』による。

 - i. 雑誌の記載例

著者名：論文題名. 雑誌名, 巻：最初頁－最終頁, 発行年
 - ii. 単行書の記載例

著者名：題名. 書名, 版数, 最初頁－最終頁, 発行書店, 発行地, 年
 - iii. インターネット資料の記載例

著者名：“Web ページの題名”. Web サイトの名称. (媒体表示), # 入手先 < URL >, (参照日付). (Web サイトの名称は、著者名と同じ場合は省略可。)
12. 図・表、写真：

表は Table 1（表1）、Table 2（表2）…、図は Fig 1（図1）、Fig 2（図2）…とし本文の欄外に挿入箇所を明示する。表には必ず表題、図には図題をつける。また、本文を併読しなくともそれだけでわかるよう内容を簡単に記載することが望ましい。

13. 見出し符号：
1、(1)、1) 、i(i)、i) を基本順位とする。ただし、緒言、研究対象および方法、結果(成績)、考案、結論など論文項目の各項目には見出し符号は必要でない。
14. 原則として国際単位系(SI)を用いる。記号のあとにはピリオドを用いない。数字は算用数字を用いる。
15. 投稿原稿は、A4版にワープロで作成し、印字オリジナル原稿1部とともに、フロッピーディスク(FD)、または、コンパクトディスク(CD)、USBメモリーなどの電子媒体(使用したアプリケーションを明記のこと)と別紙「日本遺伝カウンセリング学会雑誌投稿票」を同封の上、提出する。
16. 投稿原稿は原則として返却しない。
17. 採択後、著者校正は原則として初校(1回)のみとし、指定期限以内に返却するものとする。校正は脱字、誤植のみとし、編集委員会の承諾なき原文の変更、削除、挿入は認めない。
18. 印刷費は印刷頁8頁(図表を含め、400字詰原稿用紙40枚程度)まで無料とし、超過分の製作費は著者負担とする。カラー写真や校正時に大幅な変更(10%以上)があった場合はその費用は著者の負担とする。
19. 別刷は30部を無料贈呈し、それ以上は実費負担とする。

投稿論文提出先

〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協会館

大学生協学会支援センター 日本遺伝カウンセリング学会事務局

Tel. : 03-5307-1175 Fax. : 03-5307-1196

E-mail : iden.counseling@univcoop.or.jp

なお封筒には「原稿」と朱書し、書留(あるいはそれに準ずる手法)で送付する

平成22年9月7日 改訂